

児童発達支援事業所における評価(令和05年度)事業所向け集計
公表2024年4月吉日

実施期間2024年3月
回答数10

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10			うんどうルームや外遊びと体を使ってあそべるスペースがあります。
	②	職員の配置数は適切である	10			個々の特性に合わせた対応数になっている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	10			午睡を含め活動に応じた部屋の区分けと砂場がある。 見通しが持ちやすい様にその都度職員と話し合い環境設定を行っている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10			毎日の清掃や感染対策での消毒等も行っています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	8			
	⑥	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげて	8			評価表を確認させてもらいながら、保護者の方の要望に応えられるよう努めています。
	⑦	事業所向け自己評価及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8			掲載の通りです。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	4		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1		有料の年間研修WEBサイト・WEB研修を実施しています。 業務に差し支えないよう、研修の機会は確保しています。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9			保護者と児発管が話し合う場面を設け行われている。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9			ことばの指導ではある。

適切な支援の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドライン児童発達支援の提供すべき支援の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10			子どもに応じた支援計画を実施しています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10			全職員が把握し支援に携わっています。問題点や改善点など職員でその都度、話し合っている。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	8			児発管と職種間（保育士・児童指導員・S T・OT）でのチーム検討でモニタリングをしている
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10			毎月プログラムを変えながら季節行事も盛り込んでいます。同じ内容でも前回にひと工夫加えて行っている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	10			子どもの状況や発達に沿った支援計画を立てています。また年長児でのお子様には就学を見据えた支援内容で計画を立てています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10			朝の朝礼で必ず申し送り確認をし、時間差でくる職員にも分かるよう連絡ノートも使って周知しています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1		職員間で話し合いをし気づきを大事にしています。時と子どもの個別状況に応じて。
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10			全職員で取り組んでいます。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しの必要性を判断している	10			原則 6 か月に 1 回、必要に応じて 1 か月～ 3 か月の間隔のケースもあります。担当職員で対応しています。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			子どもの支援をしている職員が会議に参加し、状況説明ができています。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7			子育て支援施設から相談をうけ通所に繋がった事例もある。
	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保険、医療、障害福祉、保育、教育などの関係機関と連携した支援を行って	4	1		現在そうしたケースがありません。
	㉔	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を受け入れる場合）子どもの主治医等や協力医療機関と連絡体制を整えている	4	1		受け入れる場合には、連携を図りながら対応していきたい。医師から情報提供を求められ、保護者に許可をもらい連絡することがある。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8			話し合いの場をつくり、情報共有している。モニタリングの際に一緒に同席してもらい情報共有していけるよう努めています。

関係機関や保護者との連携	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5			市からの情報提供の資料を作成し、移行支援している。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1		必要に応じて情報交換をしています。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	3		屋外活動を通して交流する機会があります。
	②⑨	（自立支援）協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	4		定期的に参加しています。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10			面談を通してお子様の様子や課題への取り組みを計画書にまとめ、お話しできています。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	4	2		必要なお子様に対してアドバイスを行っています。個別ケースに応じて。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8			契約の時に説明、変更があればお便り等でも知らせています。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8			定期的に計画書を作成、支援内容を確認しながら保護者の同意を得ています。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			連絡帳や対面、電話にて家族の方とお子様のことについてお話をさせてもらっています。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3	2	併用される利用者が多く保護者会の活動はなかなか難しいこともあり、見学をして頂き子どもの成長を見る機会をつくっていただけたいと思います。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8			体験や空き状況で対応していきます。
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8			毎月お便りを発行し活動の様子や行事を載せています。 連絡帳を通して様子を伝えています。
	③⑱	個人情報に十分注意している	9			十分に注意しながら行動しているところです。
	③⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			職員同士で話し合い丁寧を心がけている。
	④⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5		野外活動を通して、地域との交流を図っています。

非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	1	訓練は実地しているが、すべての職員へ周知できていない。マニュアルの策定は知らされていない。定期的に訓練を行いおたよりを通して様子等を発行しています。防犯マニュアルでは、警察署から講師も来ていただき、最後の振り返り等も行っています。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9		年に2回実施しています。実施の様子などもおたよりに載せ保護者の方にもお知らせしています。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		アセスメントで聴き取り職員にも周知しています。
	④④	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	1	虐待防止対策のDVDやワークシートに取り組めるようにしています。 研修参加
	④⑤	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	1	アセスメント情報から家族からの申し入れにて対応しています。
	④⑥	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	1	実施中 小さなことでもヒヤリハットを書いていきたい
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	1	障がいの特性に応じた対応が必要なため職員同士で話し合いその子どもに見合った支援の方法を取り入れています。保護者の方や職員には、説明をし了承を得ています。

○この「事業所における自己評価結果は(公表)は、事業所全体で行った自己評価です。